

持続可能な
ビジネスの
在り方を考える

サーキュラー デザイン セミナー

対面開催
定員
先着 **70**名

欧州をはじめ日本でも急速に取り組みが進みつつある「サーキュラーエコノミー(CE)」。廃棄物を出さずに資源を循環させる経済の仕組みです。この度、CEをビジネスに取り入れる際に知っておきたい「サーキュラーデザイン」をテーマにしたセミナーを開催します。

サーキュラーデザインとは？

製品のリサイクル性の向上や、長寿命化などを目指して、解体の容易化、単一素材化、素材の転換など製品・サービスを設計段階から工夫することを指します。

参加希望の方は、
こちらから
申し込みください。



2024

8/6 (火)

13:30-18:00 (開場13:00)

対面/オンラインハイブリッド開催

[対面開催]

新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室
さいたま市中央区上落合2丁目3-2

[オンライン開催]

Zoom ※申込者にアドレスをお送りします。

13:30-13:45

オリエンテーション

第1部

13:45-14:05

サーキュラーデザイン 基礎編

サーキュラーエコノミーとは何か
-リサイクルとは何が違うのか-

株式会社新東通信 サークュラーデザインスタジオ スタジオ長 山下史哲氏
事業者向けに、サーキュラーエコノミー教育の支援やサーキュラーエコノミー事業創出のコンサルティングを実施。加えて、全国の自治体にてサーキュラーエコノミーによる街づくり/サーキュラーシティの取組みを推進している。英国CMI認定サステナビリティプラクティショナー。



14:05-14:40

サーキュラーデザイン 応用編

サーキュラーデザインとは何か

東京大学大学院工学系研究科
人工物工学研究センター価値創成部門 教授 梅田靖氏
2014年1月より東京大学教授、2019年4月より現職。経産省産業構造審議会資源循環小委員会委員、CE産官学パートナーシップ「サーキュラーパートナーズ」ガバナリングボード委員。ISO TC323 CAG (Chair's Advisory Group)メンバー。



第2部

14:55-15:20

サーキュラーデザイン 実践編 1

地域・企業・福祉の共創で実現する
サーキュラーデザイン実践例

アサヒユウアス株式会社 たのしさユニット ユニットリーダー 古原徹氏
鳥根県松江市出身。2009年アサヒビール入社。「スーパードライ生ジョッキ缶」の生みの親。グッドデザイン賞3回受賞。SDGs起点の事業開発に自主的に取組み、アサヒユウアスの設立を主導。森のタンブラー、Coffeeloop、plalooなど多くの共創をプロデュース。



15:20-15:45

サーキュラーデザイン 実践編 2

調整中

調整中

第3部

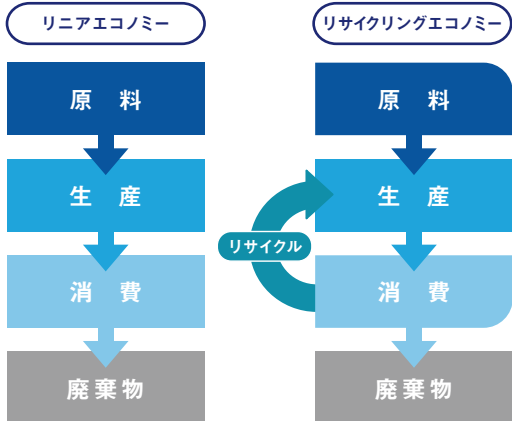
16:15-18:00

ネットワーキング・交流会

集まった事業者間で「強み」や「課題」を共有し、自社事業のサーキュラーデザインを考えるネットワーキングを行います。その後は、軽食を交えた交流会を予定しております。

サーキュラーエコノミーへの移行イメージ

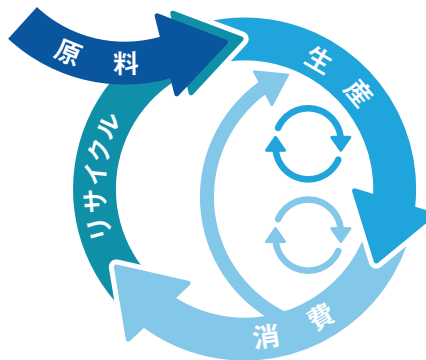
従来の経済システム



今後目指す経済システム

サーキュラーエコノミー

生産活動や消費活動などのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動のことです。



自社の製品やサービスのサーキュラーデザインへの転換を目指す「サーキュラーデザイン研究会」のメンバー募集中です。

研究会参加企業のみを対象とした最大200万円の支援金も活用可能です。

ご興味のある方はQRより詳細をご確認ください。

